

会議録

会議の名称	川島町学校規模適正化検討委員会第8回会議	
開催日時	平成26年3月18日(火) 午後1時30分～3時30分	
開催場所	川島町コミュニティセンター 2階会議室①	
議題	(1) 会議録署名委員の指名 (2) 適正な学校配置にあたっての基本的な考え方について (3) その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	第1号委員 梶野賀一郎、栗原 保 第2号委員 岡部登一、伊藤禎章、小久保 彰 第3号委員 岡部俊夫 第4号委員 蓮見重人、佐藤路傍 第5号委員 新井真理子、黒団諭志、染矢洋文 第6号委員 椎橋政広、藤間文隆、矢部京子
	事務局職員	教育総務課 渡辺英夫、大野喜裕、山崎清美、金井桂子
配布資料	資料1 川島町学校規模適正化検討委員会第7回会議録 資料2 適正な学校規模確保に向けた取組方針(案) 資料3 統合に向けての検討課題	
審議会等の内容・概要		
1 開会 金井		
2 あいさつ 岡部副会長(議長)		
3 前回会議の会議録について(報告)		
4 議事		
(1) 会議録署名委員の指名		
・藤間文隆委員と矢部京子委員を指名した。		
(2) 適正な学校規模確保に向けた取組方針(案)について		
(3) 統合に向けての検討課題について		
【質疑】		
議長・事務局より、資料の説明をお願いします。		
課長・《資料2について説明》		
議長・ただいまの事務局からの説明に対して意見がありましたら、お願いいいたします。		
委員・基本的にこの内容については賛成です。ただし、(2)今後の推移を見ながら対応する必要がある学校規模の2段目の最後に書かれている、「用地確保の課題があるが、中学校に隣接した場所に、小学校を新設する。」が、この委員会の理想としているところであるので、最初に書いてほしい。そして、それには時間がかかってしまうので、次の案として、既存校のどこかを改修して4校を1つにするという言い回しにしてほしい。既存校での統合の場合は、学校の名前も変えてほしい。既存校での統合にも時間がかかるなら、適正規模校にはならないが複式学級の解消、あるいはならないようにするために、例えば、三保谷小と出丸小、八ツ保小と小見野小といったように2校ずつの統合を考えるという順番でよいのかなと思う。		
委員・2校でも4校でも既存校で統合するとなると、どこの学校も増築しないといけない		

から敷地の問題があるのではないか。

課長・建て増しが必要かということですが、2校の統合であれば既存の教室でも40人を超えるので、増築は必要ないかと考えます。

委員・4校を1校にする場合の増築だとスクールバスが必要になるが、何年先になるか？
2校ずつにして、その後に4校の手続きをしてほしい。

委員・4校を、既存校を使って1校にする場合、小見野小学校なら敷地がある。プレハブのリースなら規模にもよるが2億5千万か3億円ができると思う。また、今のプレハブ校舎であれば、10年から15年は使えると思う。

委員・4校を1校にと話し合ってきたのだから、2校ずつで数を合わせるのでなく、最初から4校を1校に統合するほうがいい。接する仲間が変わったり、校歌が変わったり、体操着も変わるので子供たちに気持ちの面でも負担がかかる。

委員・すぐに4校を1校にするのがいい。川島幼稚園が廃園になるから、八ツ保小学校と川島幼稚園で、道を挟むが、低学年の校舎と高学年の校舎を考えれば、施設を新たに建てなくてもいい。

委員・2校で統合して、次に4校というのは、負担がかかるから、やるなら、最初から4校を1校がいい。

委員・複式をなくすためと言ったが、4校を1つがいいと思う。

委員・川島幼稚園を使うのは、道を挟んでいるが、最短の期間で考えるならば全くない話でもない。回りの環境は整っていると思う。バスの車庫もある。低学年で使用すれば、学童保育との住み分けもできるのではないか。小見野小の場合は、どうしてもプレハブ校舎を建てる必要がある。いずれにしても、現場を見るなど、よく確認する必要がある。

課長・平成28年3月で幼稚園は廃止になりますが、現在、子育て支援の拠点として府内で跡地利用の検討をしているところです。また、すでに学童保育で2部屋使っています。残り4部屋は保育室ですので、改修しないと使えないとは思いますが、4地区の中心的な場所でもありますし、いろいろな意見を集約し、次の段階へとまとめていけばといいと思います。

委員・私が2校統合もありと言ったのは、4校を1つにするのに時間がかかるなら、複式学級や男子だけの学級といった直前の課題を1年でも早くクリアしたいという考えからであって、2校ごとの統合をしてもいいという訳ではない。それから、2段階だと子供たちの心理的な負担があると言われたが、個人でなく、全体の移動なので、みんな一緒だから、それほど心理的な負担ではないと思う。いずれにしても、今の子供たちの課題解決も必要であり時間的なものが問題である。

委員・私たちは、子供たちのためにどうあるべきかという視点で議論を重ね、4校で新たに場所に新設するということでまとまったが、難しいなら多様な対応で既存校を使って4校を統合し新しい名前の小学校にする。それも時間がかかるなら2校ずつの統合というように、段階を踏んでいくのがいいと思う。

議長・(2)今後の推移を見ながら対応する必要がある学校規模についてはいかがでしょうか。

委員・小中一貫校というのは、どこから出てきたのか？

課長・近年は、公立学校の中にも小中一貫校というのがありますし、新設する場合には付加価値のある新しい学校施設にするという希望的なものもあり、記述しています。

委員・小中一貫校については、学校規模適正化研究会の時からあり、他の自治体でも取り組んでいるところがあるので、議論を深める可能性はあります。

議長・小中一貫校という考え方であれば、中学校に隣接して用地の取得が容易かということもあった。

委員・私立には一貫校はあるが、公立で一貫校ってあるのか？

委員・小中一貫校が適切かどうかは別だが、小中連携やクラブ指導や文化祭の交流で中学

校生活を見たりしている。

委員・川島中学校区と西中学校区に分かれる小学校もあるので、この言葉は控えたほうがいいと思う。

委員・(2)の内容が6校統合を前提にしているのであれば、そこまで踏み込んでいく必要はないと思うので、(1)の最後に2行くらいで記述しておけばいいのではないか。

課長・三保谷小、出丸小、ハッ保小、小見野小の4校を中心議論してもらってきましたが、町全体の学校規模適正化を考えたとき、中山小、伊草小に全然触れなくていいのかというのもあり、別の項目にして整理させてもらったものです。

委員・中山、伊草の一部は市街化区域だから人口を増やすようにしてくれればいい。市街化の小学校は残せるよう町での対策はないのか。

議長・次の資料3の統合に向けた検討課題について進みたいと思います。通学距離及び通学手段についてはどうですか？

委員・4校が一つになるならスクールバスを検討していただきたい。

議長・4校の統合になると、どこの学校を使ったとしてもスクールバスの運行が必要です。2番目の検討課題である、学校と地域の関係についてはどうでしょうか。

委員・学校と地域のつながりは強いと思いますが、統合後のこととは始まってみてからでないとわからない。

委員・地域との関係、公民館との関係なども考える必要があります。川島中への統合の時にもいろいろあったので、今後の課題であると思います。

議長・子供たちのことを第一に考えて、それにならっていくのが地域かなと思う。

委員・この委員会は、小学校を対象に考えているので、小学校と地域の関係、あるいは小学校の統合による跡地利用となるのではないか。また、順番としては、まず、通学距離・手段があり、次に跡地利用があって、最後に地域との関係としたほうが流れができるのではないか。したがって、(2)と(3)を入れ替えたほうが課題に広がりができると思う。(4)のその他の課題でも社会教育施設関係のことも取り上げていくといいと思う。

議長・(3)学校の統合による跡地・施設利用についても、意見があればいただきたい。

委員・この課題は、この委員会で検討する必要があるのか。別の委員会を立ち上げるなどしてやればいいのではないか。

課長・跡地のことについては、当然、町の行政課題として取り上げ、詳細な計画を作ることになりますが、委員会として跡地利用についての意見があれば載せていただきたいということです。

委員・小中一貫校への取組や跡地利用のことなどは検討委員会が直接議論すべきことではないかもしれないが、適正化の問題の中で広く捉えているという意味では検討課題として取り上げていいと思う。

委員・資料2と資料3について、まとめたものは今後どうなるのか？

議長・資料2については、これまで7回の会議を受けてできたもので、資料3については今後、こういう検討が必要であろうということでまとめたものです。これで固まつたものではなく、このほかにもたくさんあるのかなと思います。また、最終的には報告を教育委員会にしなければなりませんので、平成26年12月までの任期ですが、4月に入ってから1、2回会議を開かせていただき、今の委員の今まで小学校規模適正化基本方針をまとめたいと考えます。区長代表やPTA代長の委員さんも現状の委員の今まで、あと1、2回ですが、お願いします。

委員・資料3は報告書に出すのか？その先はもっと具体的にするのか？

委員・報告書をまとめるのはいつか？急ぐ必要があるのですか？

課長・皆さんに議論してもらった結果として、できるだけ早く4校を統合するという大きな方針を出してもらいましたので、事務局としましては、現在の委員が交代する前にまとめたいと考えます。資料3に列記した、通学距離・通学手段の問題や跡地利

用の問題等については、さらに踏み込んで検討していくことも考えられますが、この段階では検討課題として記述するに留め、できるだけ早く基本方針をまとめていきたいと考えています。必要であれば、新たに委員会を組織してこれらの検討課題について整理していかなければと思います。

議長・それでは、報告書の出来上がりがいつになるかは未定ですが、6月までには報告することになっておりますので、4月下旬から5月に入って、もう1回か2回、会議を開かせてもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

5 閉会 教育総務課長

署	名	藤間文隆	藤間
		矢部京子	矢部京子

会議録

会議の名称	川島町学校規模適正化検討委員会第7回会議	
開催日時	平成26年2月27日(木) 午後2時30分~4時56分	
開催場所	川島町民会館 1階 研修室	
議題	(1) 会議録署名委員の指名 (2) 適正な学校配置にあたっての基本的な考え方について (3) その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	第1号委員 加藤静一、梶野賀一郎 第2号委員 岡部登一、笛木 満、鈴木俊夫、伊藤禎章 第3号委員 岡部俊夫 第4号委員 蓮見重人 第5号委員 新井真理子、黒岡諭志、染矢洋文、大畑 修 第6号委員 椎橋政広、藤間文隆、矢部京子、山口扶由子
	事務局職員	教育総務課 渡辺英夫、大野喜裕、金井桂子
配布資料	資料1 川島町学校規模適正化検討委員会第6回会議録 資料2 適正な学校配置にあたっての基本的な考え方についての検討事項 資料3 平成31年度の入学児童数予測【学校別】 資料4 小学校の保有教室と保有面積 資料5 学校統廃合に関する調査結果 資料6 川島町立小学校規模適正化基本方針中間とりまとめ	
審議会等の内容・概要		
1 開会	岡部副会長	
2 あいさつ	加藤会長	
3 前回会議の会議録について(報告)		
4 議事		
(1) 会議録署名委員の指名	<ul style="list-style-type: none"> ・黒岡諭志委員と染矢洋文委員を指名した。 	
(2) 適正な学校配置にあたっての基本的な考え方について		
(3) その他		
【質疑】		
会長・事務局より、資料の説明をお願いします。		
課長・《資料2から資料5について説明》		
会長・ただいまの事務局からの説明に対して意見がありましたら、お願ひいたします。		
委員・この検討委員会で決めたことの責任は、どこまであるのか?		
課長・委員会で方向性を見出してもらったものを教育委員会へ報告していただき、最終的には町が決めていくことになります。		
委員・新しい場所へ小学校を建てるのはベターだと思うが、中山小や伊草小へ合併するのもいい。子供が学校で病気になったとき遠いと迎えにいけないので、家の近くに学校がある別の町へ引っ越してしまうと、若い人達は言う。例えば、平成の森公園を		

- 一部つぶしてできないか？中学を1つにして西中を使ってもいいと思う。
- 委員・基本的には統合を考え、町の中央に1校を造ろうと議論を進めていたが、かなりの時間がかかるとのことである。現実には、ハッ保小で複式学級が始まってしまうのだから、今の子達をどうするかということも考えなくてはいけない。皆さんにも、もっと意見をもらいたい。
- 委員・4校統合が望ましいが、新庁舎の建設のこともあり、お金でもめることになる。2校ずつ統合すれば、校舎も既存のものを使える。ただ、地域間でもめるとと思うので、2校で統合するときは学校名を変えるのが良いと思う。スクールバスも全地域で出す必要はなくなる。
- 委員・児童数の少ない学校には良さもあるが、デメリットもある。5年、10年先の児童数を見据えると統合しなければならない。用地の関係もあり保護者にとって行きやすい場所にした方がいいと思う。当面は既存校を使いながら、同時に組み合わせや統合の仕方を考えればいいと思う。
- 委員・中山小、伊草小以外の4校を1校と思っていたが、6校という考え方も出てきて頭の中がまとまらない。複式学級も出てくるということで始まったこの会だが、新設の学校を建てるのに10年かかるのであれば、当面2校ずつの統合も仕方がないと思う。
- 委員・直近で問題になっている複式学級は大変なことである。5年後に三保谷小も複式になる可能性もあり、先々には4校を1校にする必要があると思うが、まずは複式学級をなくすために2校を1校にしたらいい。そして、地域性を守っていかなければいい。
- 委員・新設の学校建築がそれほど難しいと思ってなかった。法律改正によって既存集落外の白地農地への建設は困難と言われるが、「4校を1つにして新設校を造る。」ということを、この会の理想として考えをまとめたほうがいい。そして、中山小や伊草小もやがては統合しないとならないから、6校統合をめざすということで、一つ結論付けをしてもらいたい。そのあとで、新校舎建築に時間がかかるなら、次の問題として、今の子供達のことを検討していただく。
- 委員・新設校は、グランドなら3年できるのではないかと言っているが、待ったなしの複式学級の解消が先で、学校の規模に限ってでないとこの場で議論しても財政面の執行権がないから、解決できないと思う。
- 委員・新設校に年数がかかるなら、同時進行で2校ずつの統合を考えていくということではいけないのか？
- 課長・4校統合でも6校統合でも、1学年に複数学級ある学校にしていくための道筋として、2校ずつの統合をしながら段階を踏んで最終的な目標に向かっていくのであれば、別として考えないでいいと思います。
- 委員・4校を1つにするのが、一番わだかまりがない。極論かもしれないが、総合グラウンドに校舎ができるなら平成の森公園の一部をつぶして校庭を造ればいいのではないか。2校ずつの統合だと、例えば、三保谷小と出丸小を統合するとした場合、出丸小にまとめるのか、三保谷小にまとめるのかでもめることになる。
- 委員・まずは、この委員会で大きな方向を決定してもらいたい。新設校で4校を1校にし、数年後には6校が入れるようにすると、結論をまとめることが先決である。そのあとで、「現実の子供達をこの状況のままにしておくのか考えましょう。」ということについては大いに議論すべきだ。
- 委員・いったんまとめて、当面は2校ずつでいいと思う。
- 議長・新設校で統合していくことについて意見はないですか。また、6校を1校にするか、4校を1校にするかについても、ほかにご意見はありませんか。
- 委員・新設校には賛成。年数がかかるなら、前段階を踏むのがいいと思う。
- 議長・当面4校、最終的に6校が入れるようにする。中山小、伊草小も見据える。
- 委員・最終目標を決めるのですね。4校か6校かを決めたいのですね。

議長・最終的には新設校とする。4校を統合するように造るが中山小、伊草小も見据えて敷地を考える。その前に目先のこととして複式学級をどうするか。こう考えていくと、本町の小学校を適正な学校規模にしていくには3段階になると思います。

委員・川島中学校ができた時も、伊草中学校、三保谷中学校、出丸中学校があつて、伊草は2年目に校舎に入れた。段階を踏んで、目標に向いていくのがいい。徐々に統合するとこうなるんだなということです。

議長・最終的には6校を1つにしたのを造る。前段階で4校を1つに造る。グラウンドに造ったらしいとか、この近辺に造ったらとかは、ここでは話しあえないが、3段階くらいの統合で方向性が見えてくる。

委員・果たして1校の小学校で通えるのか？中山と伊草で統合して1校、三保谷、出丸、八ッ保、小見野が統合して1校の2校がいい。ここから、中山地区の長楽や出丸地区の中郷はとても遠い。通学距離を考えても2校の方が通いやすい。家庭との連絡がとれるか心配する。もう一点、学校の建設問題は今ある三保谷小学校の建替えなら、許可がすぐ下りるのではないか。

課長・時間的な問題がありますが、当面4校の統合は皆さんに異論はないと思います。そこで、新設校をどこかに造るか既存の学校に造ることにした場合に、中山小、伊草小の状況によって6校で統合していくのか、最初から6校統合で考えていくのかを決めていただくのがいいです。

委員・中山小や伊草小も5、6年先には小規模校になっていくのだから、適正な規模にするには6校を視野に入れなければならない。新設校が理想だが6校が入れないと意味がない。これが検討委員会の目標である。ただし、当面の課題を練らなければならないのもわかる。いったん最終的な結論を出して、そこに至るまでの間をどうするかという議論ができないから、このままではまとめられないです。

委員・最終的に6校か4校か決を採るしかない。その後、現実の2校をどこの学校を使うか。

委員・市街化区域の中山地区、伊草地区に新たな団地でもできない限りは、中山小、伊草小もやがて小規模校になる。その時には、中山小、伊草小以外で統合した4校も小規模校になってしまうので、検討委員会が決めた適正規模を維持するには6校しかない。

委員・新設校で、行く末は6校を見据えて話は進んでいるが、新設校ができない場合は、出丸と三保谷、小見野と八ッ保と一緒にしないといけない。農地の取得等は行政のテクニックだと思うので、新設までの間の4校をどういう風にするのかを決めた方が現実的だと思う。また、6校を1つにするとスポーツ少年団も1つにまとまっていく可能性がある。サッカーは今3つ大会があるが、影響が出る。最終的に6校を1つにと考えるが、統合できなかった場合に4校をどう吸収するか、方法を考えないといけないと思います。

委員・統合の対象校は、資料2検討事項1の②全小学校6校でいいのですよね。

議長・4校統合で新設校を造る、行く末は6校を見据えることです。

委員・理想は6校を1校に新設がいいが、本当の理想は、子供が増えることだと思う。当面4校を1つにするには、時間がかかるのですか。理想論かもしれません、10年15年かけても町の人口を増やしていく対策をしてほしい。

委員・農地を学校用地にするには、本気でやれば5年8年でできるかもしれないが、難しい。6校統合の形をとっておいて、その間、既存校に入っていることになる。

委員・4校を1校でいい。法律の壁はあるが特例もあると思うので、条件も聞いてあたっていく可能性があると思う。三保谷小、出丸小、八ッ保小、小見野小を1校にする。中山、伊草は市街化区域だから社会増もあるかもしれないが、そのままにしておく。町に小学校が3校あっていいと思うので、当面、過小規模で困っている4校を1校に統合することが先決である。

委員・元々、過小規模の4校の適正化で始まったのであり、中山、伊草は現在、適正規模なのだから、この2校まで入れて考える必要はないと思う。4校でさらに課題を考えていいかないといけないと思う。最終的には6校が統合していくことになるのかもしれないが、今は4校でいいのではないか。

委員・当面4校で、新設校を造る時には6校が入れるスペースもとることです。新設校は難しいと言っているのだから、そうこうしているうちに4校だけではなくなる時期がきてしまうのです。

課長・資料2の統合の対象校は、町内6校まとめる。第1段階として4校を統合、将来は6校を見据えて敷地を計画するということでおよしいでしょうか。

委員・敷地はいいと思うが、施設は造れないですよ。初めから6校分を建設するわけではない。

委員・6校を見据えたのですから、新しく学校で4校統合し6校を見据えるということでおよしい。中山、伊草は人口増が考えられるから、行政が児童を増やせる対策をとってほしい。

委員・統合の対象校は4校か6校か。私は6校で考えています。

議長・まずは4校を統合して新設し、6校を含めた敷地を確保していくことになろうかと思います。

委員・新しく農地を取得するのに何年かかるとか、そこで可能かどうか、特例があるのか、小委員会で決めて頂いて、2年でできるというのもあれば、調べていただきたい。

委員・4校を1校にとなった時、どこにということになるが、八ツ保小を中心に考えればどうでしょう。4地区に接触しているので、一番早道だと思う。

議長・既存校を利用するということですが、長い年月を要する内容ですから、それも調整したいと思います。

5 閉会 岡部副会長

署名

染矢洋文



黒田 諭光

